

募集とお願い

★次号の「表紙イラスト」のボランティアさん募集中！

イラストを描くのが好きな30歳未満のアマチュアのかた。
Y A小説の表紙っぽい絵や、中高生や若い人が好むタッチの
絵柄で、オリジナルのモノクロのイラスト。
作画サイズはB 6 サイズぐらい。四方が直線のもの。
紙に手描き・デジタルどちらでも可。
掲載の場合、薄謝として1000円分の図書カードを差し上げま
す。まずはご連絡ください。
第2号の表紙イラストはhiromiさんにご協力いただきました。

★「Y A読書応援団！」情報募集中！

Y A（人・本）やY Aの読書活動を応援しているグループ・
団体を当会員が取材して、ニュースレターで紹介していきます。
Y A読書応援団と呼べる活動をされているかたについて
ぜひ情報をお寄せください。

★ニュースレター個人購読登録（送料+カンパ）と ご寄付のお願い

直接受け取りを希望されるかたは、購読登録にご協力くださ
い。カンパ代含めて「3号」と「4号」分の送料として下記の
口座に1000円ご入金うえ、送付先の住所とお名前をお知ら
せください。1部ずつ郵送いたします。第3号は2020年1月ご
ろ発送予定です。2部以上ご希望のかたはご連絡ください。

ニュースレターはみなさまからの寄付で作成、配布していま
す。印刷費用以上に送料や雑費などの経費がかかります。日
本Y A作家クラブの活動にご賛同いただける会員、非会員の
みなさまに、ご協力をお願いします。お振り込み手続き完了
後に必ずメールでご連絡ください。個人一口2000円～。

銀行振り込みの場合
ゆうちょ銀行 ○二八店（ゼロニハチ店）
普通0406075 名義Y A R C
郵便局からご送金の場合
番号10250-4060751 名義Y A R C



利用の際は必ず下記サイトを閲覧下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo

ご協力ありがとうございました。

協力・大島恵真、香坂直、金原瑞人、
代田亜香子、長友恵子
(50音順敬称略2018年11月～2019年4月末)

編集アドバイザー・門田奈穂子（YARC）
校閲・神戸遥真（敬称略）

編集後記

日本Y A作家クラブニュースレター創刊号は多
くのかたのご協力で、公共図書館や学校図書館、
本に関わるお仕事をしているかたに受け取って
いただきました。誠にありがとうございました。
この最新号は、A 3 版両面刷りの「紙」版の他
に、P D Fファイル版もあります。掲示用の印
刷・複製可です。読書活動に関係する代表の方
にメールで配布しています。どうぞご利用くだ
さい。バックナンバーは閲覧用にW e bで公開
予定です。
「お気に入り調査隊」では2年以内にY Aの新
刊のある会員が「お気に入り」を紹介していま
す。作品とは違う著者の一面を知ること、本
をより身近に感じていただけますように。
この紙面や当会のサイトが、Y A読書に関わる
みなさまのお役に立てればと思います。図書館
や学校などでの紙面の展示や閲覧も大歓迎です。

編集・デザイン 梨屋アリエ

ニュースレターの
バックナンバーも
日本Y A作家クラブ
のWebサイトで！

にほんわいえーさっかくらぶ
日本Y A作家クラブ

Newsletter

第2号 2019年7月発行

代表世話人 金原瑞人 梨屋アリエ

お問い合わせはメールでお願いします。
jya.sakka@gmail.com

「Y A R C」事務局 「日本Y A作家クラブ」



<http://jya.iinaa.net>

にほんわいえーさっかくらぶ

日本Y A作家クラブ

Newsletter

Vol. 2

Y Aで
つながろう！

CONTENTS

◆ 作家・翻訳家のお気に入り調査隊

横山充男さん・三辺律子さん

◆ Y A読書応援団！

SHIPにじいろキャビンさん

◆ 募集とお願い

「日本Y A作家クラブ」会員の インタビュー、Webで公開中

インタビューは「日本Y A作家クラブ」サイト
よりと明記があれば図書便りなどに転載OK

<http://jya.iinaa.net>



2019年4月末までの会員
(50音順敬称略)

石川宏千花、石飛千尋、大島恵真、
香谷美季(篠原美季) 片川優子、
風野潮、金原瑞人、河合二湖、
如月かずさ、木村航、朽木祥、栗沢まり、香坂直、
神戸遥真、越水利江子、後藤みわこ、こまつあやこ、
三辺律子、鹿田昌美、篠原まり、新城カズマ、
しんやひろゆき、代田亜香子、たからしげる、立原透耶
中村浩美、梨屋アリエ、那須田淳、西田登、野沢佳織、
花形みつる、原田勝、藤野恵美、菅田哲也、松山美保、
宮下恵菜、森川成美、横山充男、齋美千子、令丈ヒロ子

「日本Y A作家クラブ」は、Y A(ヤングアダルト)作品の作家と翻訳家の
有志により2009年に発足しました。
Y A作品やY A関連の情報を、書店さんや司書さんや先生や読者の皆さん
に広く提供することを目的とした、インターネット上でPR活動をする会です。

Y Aとは、若い大人を
表すヤングアダルト
Young Adultの略称
で、ワイエーと読みます。
「子ども」や「学年」の
枠にとらわれない
若い人向けの本を
Y Aと呼んでいます。

イラスト hiromiさん

作家・翻訳家の お気に入り 調査隊

その1 作家の
横山 充男 さんの
お気に入り、おしえてください!!

ぼくのお気に入り、Rolandの電子ドラム TD-1KPX2です。タ方の4時ぐらいから1時間ほど、ほぼ毎日叩いております。原稿のワープロ打ちでかたまった体を、ドラムで心地よくほぐしておるわけです。

電子ドラムは音が出ません。ヘッドフォンで聴きながら叩きます。防音設備



のないふつうの家では、この電子ドラムが最適です。折りたたむこともできますので、狭い書斎でもだいじょうぶ。

若いときはギターをやっていたのですが、60歳を過ぎてドラムをやることにしました。ドラム教室にも通っています。オヤジバンドにも入っています。スタジオで生のドラムを叩くと、いっそう開放感があります。

しかし大事なのは、自宅での日々の練習です。電子ドラムは見た目はおもちゃみたいですが、ヘッドフォンを通して耳に届く音は本格的です。ドラムの音の種類もいろいろ選べ、曲に合わせて変えることもできます。メトロノームの音出し機能もあるし、パソコンやウォークマンにつなげると、プロの演奏に合わせて叩くこともできます。

1時間ほど書斎で叩くと、うっすら汗をかきます。ぼくは66歳ですが、ちょうどいい運動にもなります。このあと夕食のビールのうまいこと!



横山 充男 さんの
最近のYA作品のことも
おしえてください!!



『一ツ蝶物語』(ポプラ社)が最新刊のYA向けの本です。この本よりも少し先行して『結び蝶物語』(あかね書房)を出しました。よく似た書名からもわかるように、この二冊は対になっています。本来なら同じ出版社から出すべきところなのですが、ある意図があって別々の版元から出しました。もちろん、版元の了解を得てです。さて、その意図とは。

お気に入り調査隊

その2 翻訳家の
三辺 律子 さんの
お気に入り、おしえてください!!

私のお気に入りは、「調理用ガスバーナー」。これは本当に便利! 早速使い道をご紹介します。

まずはクレームブリュレ。最初から数居の高そうなものが、と思われるかもしれませんが、いえいえ、違います。作り方は(1)コンビニでプリンを買う(濃厚系がお勧め)(2)耐熱容器に移す(3)上にグラニュー糖(普通の砂糖でも平気)をふる(4)バーナーで砂糖を焦がして出来上がり。ちなみに、ケー



キ屋さんでブリュレをテイクアウトすると、表面が溶けちゃってることがありますが、この場合もバーナーでひと噴きすれば、大丈夫。またカリツとなります。

お次はしめ鯖。(1)しめ鯖(パックのでOK)を買う(2)バーナーで表面を焦がす。一気に小料理屋さんのメニューみたいに。こちら、炙りトロ、炙り鰹など、様々に応用できます。

三番目は、オーソドックスに焼き鮭。(1)焼きあがった鮭の皮をバーナーでジュツ。こんがり焼き目が食欲をそそります。

そして、四番目はスモア! バーベキューの最後にマシュマロを炙って、チョコとクッキーで挟んだあのいかにもアメリカ的高カロリーデザートです。ちなみにスモアとは、「some more=あともう少し食べたい」を短くしたもの(急に、自分が料理研究家ではなく、翻訳家だったことを思い出した)。これはもうレシピは書かなくていいですよ。五番目は……あ、文字数がオーバーなので、あとはみなさん工夫してみてください。

三辺 律子 さんの
最近のYA作品のことも
おしえてください!!



『最後のドラゴン』ガレット・ワイヤー 著 三辺律子訳 あすなろ書房
ドラゴンのお話は色々訳したことがあるけれど、一番好きかも! 舞台は現代のウィーン。但し、こちらのウィーンにはドラゴンが暮らしています。11歳の少女マギーとドラゴンのグリシャは、行方不明になった70頭以上のドラゴンを探そうと決意しますが……心に響く文章が散りばめられたファンタジーです。

YA読書応援団!

第2回 取材・レポート 梨屋アリエ

恋、したことありますか? 恋する心は同じでも、恋した相手が周りの人と違っていたら? 恋してなくても、自分の性別や体の特徴に違和感を持ってしまったら? ひとりでは不安で、心細くなりそうです。

自分のセクシュアリティに気づいた人が、正しく、ポジティブな情報を得られたかによってその後の自己肯定感は変わってしまいます。そう教えてくださったのが、神奈川県内で活動をしている特定非営利活動法人SHIPの代表・星野慎二さん。SHIPでは、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)が本を読んだりおしゃべりしたりできるコミュニティスペース「SHIPにじいるキャビン」のほか、交流会や電話相談・講演活動をしています。

窓のレインボーフラッグが目印のマンションの一室にある「にじいるキャビン」は、匿名で利用できます。県の教育委員会が中学や高校に(横浜市は小学校も)SHIPのリーフレットを配布しているため、自分で見て来る人のほか、学校からの紹介で訪れる人もいます。そうです。生徒からの相談を受けた保健室と学校図書館が連携し、啓発のためのLGBT書籍を学校図書館に購入した例を聞いているとのこと。とはいえ当事者は周囲の目が気になって、図書館や書店ではLGBTの本になかなか手を伸ばすことができないそうです。「にじいるキャビン」の図書コーナーの二つの本棚には、著者や団体から寄贈されたLGBT関係の書籍がぎっしり。貸し出しはしていないのでその場で読むことになるのですが、ここに通ううちに気持ち落ち着き、肯定感を持てるようになり、自信をつけて帰る姿が見られるそう。

性的少数者が悩んでいることの多くは親との関係で、家に居場所がないことです。カミングアウト後に親から「出ていけ」と言われた高校生や、「にじいるキャビン」に行きたくても親に言えないと悩むティーンもいるそう。正直であることは大切ですが、自分を守る小さなウソも生きる知恵のひとつ。カミングアウトはしなければいけないものではありません。受け入れる家族がいる一方で、拒絶する家族がいることも事実なのです。「二つの世界」をうまく使い分けられたいのですと、星野さんはおっしゃいます。良い使い分けができるようになって、ストレスを発散する場所があれば、その人は大丈夫とのことでした。

さて、相談者の男女比は半々だそうです。ゲイに関する印刷物が多いのは、男性のほうが経済力があり、飲食店など集う場所が商業的にも成り立ち、HIV対策でも予算がつき、紙媒体を置く場所があるからとのこと。一方で、女性は賃金格差などの経済的・社会的な要因で商業的に成り立ちにくく、情報が少ないそう。ここにもジェンダー・ギャップが存在しているのですね。若いみなさんが、長い人生を生き生きと暮らせるような本に、たくさん出会ってほしいと思いました。



コミュニティスペース
「SHIPにじいるキャビン」
水・金・土曜16時~21時、日曜14時~18時

特定非営利活動法人SHIP
横浜市神奈川区台町7-2ハイツ横浜713
ウェブサイト <http://www.ship-web.com>

このニューズレターは、発足十一年目を迎えた日本YA作家クラブが、皆様からの寄付で作成し、無料配布しています。目的は、(a)YAをPRする作家と翻訳家の会「日本YA作家クラブ」と、YA(ヤングアダルト)という言葉、概念を知っていただき、(b)会員インタビューなどを掲載したウェブサイト <http://ya.ina.net> を案内すること。対象は、(1)子どもや若い人たちがYA書籍にふれる環境を整備できる立場にいる人ー具体的には、公共図書館や学校図書館のスタッフ、教育・福祉関係者、書店員や本に関わりのある人、(2)その他、購読を希望する機関と個人です。